



HPはコチラから

すまいる

今月のキラキラさん



野上祇園実行委員会
の皆さん

今月は野上祇園実行委員会の皆さんを紹介します。

『野上祇園』は明治43年頃「豊後中村祇園」という名で始まり、名称を変えながら現在まで続く伝統的なお祭りです。近年は野上祇園保存会がお祭りの運営を行い、賑わいをみせた時期もありましたが、いつしか開催も危ぶまれる状況に。そんな折の平成22年、電気屋を営んでいた原田さんが「これで祇園を盛り上げてくれ」と寄付をしてくれました。保存会の皆さんは寄付をきっかけに若い世代の力を借りることを決め、声を掛けられた若い世代が集結して立ち上げたのが、『野上祇園実行委員会』です。委員会は寄付の一部を預かり、集客のためのステージイベントを企画しました。出演者を呼び、町内外の来店者への声かけなど、お祭りを盛り上げるために奔走。その結果多くの人が集まり、かつての賑わいを取り戻しました。

新型コロナウイルスにより中止の年もありましたが、毎年大勢の人が集まり、楽しい時間が過ごされています。「来てくれた子供たちが笑顔になれるように、お客さんも自分たちもみんなが楽しめるようなお祭りを続けていきたいです」と意気込みを語ってくれました。来年の夏も『野上祇園』が楽しみです。

事業のお知らせ

「軽度生活援助事業」

軽度生活援助事業は、住み慣れた地域・自宅で暮らし続けたいと願う思いに寄り添い、高齢者等の在宅生活の継続を支援することに目的があります。

家の周囲の草刈りや庭木の剪定、壁や塀に巻き付いた蔓とり、重たいものの運び出し、溜まった落ち葉や雨樋の詰まりの掃除、軽微な修繕など、ちょっとした生活の困りごとに対して、「困ったときはお互い様」の気持ちで援助員に登録していただいた地域の方がその解決に取り組んでくれます。お気軽に相談下さい。

【対象】九重町にお住まいの一人暮らしの高齢者・高齢者世帯・障がい者等支援が必要な世帯

【費用】三十分あたり五百円

※九重町と社会福祉協議会より補助があります。

【申し込み・お問い合わせ】

九重町社協生活支援係(76-2500)



10月1日から12月31日は赤い羽根共同募金の運動期間です

昨年度、大分県共同募金会から九重町社会福祉協議会への配分金は1,714,000円でした。九重町では次のような事業に使われました。



障がい児者福祉5%

【事業別の割合】

高齢者福祉 15%	福祉育成援助 45%	歳末たすけあい 35%
--------------	---------------	----------------

高齢者福祉

◆多世代ふれあい事業

各地区で行われている多世代交流事業の中で民生委員によるブースでふれあいコーナーや相談コーナーを設置しました。

◆サロン貸し出し備品

サロン活動などで使用する備品等の貸し出しを行いました。

福祉育成・援助活動

◆広報活動

地域住民の方に対して、社会福祉協議会の活動や福祉に関するさまざまな情報を広報紙やホームページで広報活動を行いました。

障がい児者福祉

◆コスモスの集い

障がい者の社会参加を目的に、レクリエーションを行いました。

◆おもちゃ図書館

子どもたちがおもちゃで楽しく遊び、経験を通して地域で心豊かに育つことを目的として、おもちゃの貸出を行いました。

歳末たすけあい

◆広報活動

地域住民の方に対して、社会福祉協議会の活動や福祉に関するさまざまな情報を広報紙やホームページで広報活動を行いました。

◆玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会

災害時に備えての研修やボランティア活動に対応できる体制を確立するための助成をしました。

◆災害時用備品

災害時に備えて備蓄品を購入しました。

◆朝食支援事業

中学校で年数回土曜日の登校時にボランティアの方々の手作りの朝食を生徒に提供しました。

今年も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

こころサポ便り

支え合いリーダー大活躍！

九重町では、誰もが安心して暮らしていける地域を目指し、平常時の見守り役として、毎年「支え合いリーダー」を養成しています。「支え合いリーダー」は、生活の困りごとや不安がある方の把握をしてくれたり、自分の暮らす地域での支え合い活動（サロン・カフェ・地域食堂・くらしのサポートセンター・ささえあひサービス等）への参加など、自分のできることで参加し、毎月開催されている定例会や年に一度の視察研修等では、地域の課題を共有し情報交換をしながら、より住みやすい九重町を考え、少しずつ活動の輪を広げていきます。

ながら、協力をしてきています。

また、相沢加代子さん（写真左）は、民生児童委員活動やご自分の仕事の傍ら、暇を見つけて地域食堂やカフェ、くらサポ飯田の活動員、さらに地元のサロンリーダーとしても大活躍。森八重子さん（写真右）は、給食サービスでのボランティアや飯田ふれあい食堂の会長を務め、くらサポ飯田でも高齢者の外出付添や部屋の片づけなど、ちょっとした困りごとにも「私が行きます！」と一つ返事で答えてくれます。

「支え合いリーダー」の活動は、行事に参加するだけでなく、近隣の気になる方の見守りなど日頃の生活の中でできる活動をお願いしています。支え合いの輪が広がることで、ちょっとした困りが解決したり、不安な気持ちを解消することにもつながっています。いつもありがとうございます。



高所作業もなんのその！



子どもが大好きなお二人

マップづくりからつながりを♪

防災は「備えること」だけではなく「つながること」も

現在、各地区で防災見守りマップづくりの取り組みや見直しを行っています。

このマップづくりでは、過去被害にあった場所や避難経路の確認に加え、「息子さんはいつ帰る予定?」「〇〇さんは最近散歩してる所をよく見るね」など、地区の方の沢山のつながりが見えてきます。こうした気づきは、ひとり暮らしの方や耳の聞こえにくい方など、災害時に支援が必要な方々の存在を日頃から意識し合い、地域の絆を深める大切な一歩になります。

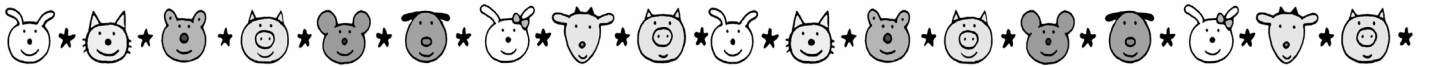
ある地区では、区長さんの声掛けにより、組に入っていない方もマップづくりに参加され、災害が起きた際に孤立しない為の話し合いも行われました。「普段交流がなくても、命が危険な時は同じ地域に住んでるんだから、皆で協力して全員で助からな」と区長さん。その言葉からは地域で共に生きるといふ確かな想いを感じました。

「備えること」から「つながること」へ
顔の見える関係づくりが、いざという時の支えになります。皆さんの地区でも地域のつながりを育む防災見守りマップづくりに取り組んでみませんか? まずはお気軽にご連絡ください。

皆で作ったマップを情報共有



みんなで共助の育みを♪



9月10日のベビーマッサージでは、保健師さんと一緒に大分県立看護科学大学の学生さんが実習で来ました。「ゼロ歳からの歯育て」と題して講話をしてください、解りやすいお話しにみなさん聞き入っていました。

■ベビーマッサージ (ベビニコニコ広場)

9月の活動

ここのえ子育て交流センター



ここのえ子育て交流センター ☎73-2666 / FAX73-2670

<交流センターで貸し出しています>

- 本 3383冊
- DVD 100枚
- おもちゃ 202個

■積木の活動 ビース流し (小学生)

9月20日に二面鏡で「鏡の世界」を楽しんだり、ビースを流したり、ビースの上を箱船で渡ったりしました。鏡の世界ではいつまでも広がる空間を楽しんでいました。



■ファミリーサポート まかせて会員 おねがい会員交流会

9月7日、ファミリーサポートセンター(ここのえ子育て交流センター)ではお子さんを預かってくれる「まかせて会員」とお子さんを預ける「おねがい会員」の交流会を開きました。子育てでいろいろな話ができまし

11月のカレンダー



1	土	のがみふれあい食堂 野上公民館 10:00~12:30	17	月	子育て交流センター休館日
2	日		18	火	オレンジカフェ 野上公民館 14:00~15:30
3	月	文化の日	19	水	わくわく広場【子】AM
4	火		20	木	
5	水	乳幼児親子と中学生のふれあい交流事業【子】	21	金	寄り合いカフェ 南山田公民館 14:00~16:00
6	木	ものわずれ相談室 飯田公民館 10:00~11:30 乳幼児親子と中学生のふれあい交流事業【子】	22	土	南山田ふれあい地域食堂 南山田公民館 10:00~12:30
7	金	ものわずれ相談室 南山田公民館 10:00~11:30 寄り合いカフェ 飯田公民館 14:00~15:30	23	日	勤労感謝の日
8	土	飯田ふれあい夢食堂 飯田公民館 10:00~12:30 お出かけ児童館 野矢校区【子】PM (交流センター午後休館)	24	月	振替休日
9	日		25	火	ベビーニコニコ (絵本の日) 【子】AM
10	月	子育て交流センター休館日	26	水	わくわく広場【子】AM 無料法律相談【福】13:30~15:30
11	火		27	木	
12	水	オレンジカフェ 南山田公民館 14:00~15:30 ベビーマッサージ【子】AM	28	金	
13	木		29	土	うみたまご【子】 (交流センター休館)
14	金	寄り合いカフェ東飯田公民館 10:30~11:30	30	日	
15	土	源流探検【子】 (交流センター休館) 東飯田地域食堂 かたろうへ 東飯田公民館 10:00~12:30			
16	日				【福】福祉センター 【子】子育て交流センター ★行事や時間・場所は、都合で変更になることがあります。

今月のちょっとひとこと

秋といえば「読書の秋」という事で、今回はおすすめの1冊を紹介しします。

ひすいこたろう著『3秒でハッピーになる名言セラピー』です。

この本では、1話完結型の短いエピソードで構成されており、心に響く名言を通じて気持ちが元気になったり、考え方が柔軟になったり、人生を前向きに生きるヒントをもらえます。

「幸せは、なるものじゃなく、気づくもの」日常の中にある小さな喜びや、当たり前と思っていた事のありがたさに目を向けることで、沢山の「幸せ」に気づくことができました。

この本を手にとった時に、皆さんの心にも響く言葉が一つでも見つければと思います。

♪あなたの毎日が笑顔で満ちますように♪

【秋子】

民生委員さん活躍中!!

地域住民の一員として、生活上の様々な相談に応じ、必要な支援やサービスへの「つなぎ役」を担ってくれている民生委員さん。野上地区の日野由紀子さんは、食堂前日の寄り合いカフェに参加され、アイデアあふれる手づくり活動で参加者を楽しませてくれます。同じく河野孝志さんは、ギター片手にサロンを回り、生演奏を披露し参加者と一緒に歌います。また、ふれあい食堂の調理スタッフとしても活躍しています。

お二人に限らず民生委員の皆さんは訪問活動や見守り活動など日々地域の為に活動しています。ひとりで悩まずお気軽にお近くの民生委員さんまでご相談ください。適切に関係機関へ繋いでくれます。

